

1. 調査報告概要表

作成日 2007年12月16日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 5 0 2 5 2 0
法人名	有限責任中間法人ほのか
事業所名	街かどケアホームほのか
所在地	福山市沖野上町5 - 6 - 11 (電 話) 084 - 921 - 6240
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成19年11月28日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 28 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤	10 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 10 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000 円	その他の経費(月額)	33,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(8月 1 日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.2 歳	最低	72 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

街中でありながら比較的静かな住宅に囲まれたグループホームである。施設長は町内会の役員をしておられ地域に馴染まれる取り組みが見られる。入居者達はホームの理念である”入居者が主体”のもとでおちついて静かな生活をおられる。職員の言葉に 老後はこの施設で暮らせるようにしたい はこれからのグループホームにとって一番大切なことだと思われるのでこの方針でこれからも続けたいことを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	入居者が主体の運営方針がつかぬかれており入居者はおちついて自由に生活しておられる。グループホームのあり方としてJAWAの方針はひとつのきちんとした内容と感じられる。ただ高齢者の残存機能は日々落ちていくのでそれを遅らせるための活動を少し増やされるとよりよいものになると思われる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	施設の状況、施設としての取り組み方針、現状などこちらの要望には全部回答がいただけた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	ホームの運営内容や介護のあり方など施設が取り組んでおられる状況を会議で説明し、参加者から意見・要望などを聞きだして運営に役立てる努力をしておられる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族へは週に一回は電話などで連絡をとっておられ、入居者の様子を知らせるだけでなく家族の意見を聞くように努めておられる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	施設長は町内会の役員として地域に貢献しておられる。1階は地域の人たちの交流の場として利用できるようになっている。地域の子どもたちが遊びに来られるように本を置いており、アイスクリームを食べることができる。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の福祉の向上を理念の一つとして利用者主体の理念を作り上げている。		地域の人たちに浸透される努力が見られるがこれからもこの方向で努力されることを期待する。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入社時の研修で理念が体現できるように受けている。		一人ひとりに向き合う介護を研修で受けておられその取り組みが見られる。
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設長は町内会の役員をしておられる。町内の運動会に参加しており、台風のときの避難場所として利用されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の内容は全職員が研修しており、これを参考に改善することは行っている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月(実施日を定めている)に一度の計画で町内会長、民生委員、地域包括支援センター、家族の参加で実施されている。会議の内容は全職員に周知し、業務に活かされている。		

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括介護センターの訪問があり、ネットワーク会議に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	”ほのか通信”としてイベント実施後に出しており、一人ひとりのアルバムを作り家族に見ていただくようにしている。週に一度は家族と電話などで連絡している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族と連絡したときできるだけ話しを聞き記録して運営の参考にしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は入居者と馴染めなるように常に努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時に三ヶ月の研修がありそれを終えた人が社員となる。技能向上は四段階の研修があり、定期的に参加して技能の向上に勤めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	包括介護支援センターのネットワーク会議に参加して情報交換をしている。日本地域福祉協会(JAWA)参加の各グループホームの交流がある。		地域内に向けた活動を計画しておられるのでこれに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入所希望者宅への訪問や遊びに来てもらう取り組みがある。		老後はここで生活できることを目標に取り組んでおられる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	一人ひとりの違いを職員は理解しておりその人にあつた対応をしておられる。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入居者が主体の理念が職員に浸透しており、利用者の要望に応える取り組みをしておられる。		入居者と家族の意見が違うときは入居者の代弁となって家族に伝えておられる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	カンファレンスから職員が関わっておられ、計画は職員がたててケアマネジャーほかの職員と相談して決めている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	職員がリビングパートナーとして関わっており、6ヶ月に一度の見直しと状態の変化に応じた見直しをしている。		夜中に介護の作業が必要なときは人員配置を変えている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	一階は地域の人たちの集う場所として利用できるようになっている。		町内会にも積極的に参加しておられ、これからの活動が期待できる。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の主治医を基本にしてそこと施設が連携するようにしている。医院へ行くようにしているが医師の訪問もある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や医師と相談しており、一度は看取りを行なった。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報には鍵のかかる場所に保管している。6ヶ月に一度確認の同意書を取っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分の想いで生活できるようにしており一人ひとりの個性を大事にしておられている。		入居者の状態によりその日そのときで違った対応をしておられる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事する場所(食卓・自室など)は自分で選べる。食事時間は希望するときに取れる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望により自由に入れる。(夜でもよい。)		嫌いな人にはその原因を取り除くように取り組んでいる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者は自由に生活しており自分の思いを行動で示したり職員に伝えており散歩など楽しんでおられる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や道路の草取りなど自由に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけておられない。職員の言葉は拘束のないように話しておられる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応マニュアルを作成している。避難訓練など危機管理意識の向上に勤めている。		地域の人の避難場所として使われた。

街かどケアホームほのか

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量をチェックしておられ、必要な人は記録し対応しておられる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には応接椅子、テレビまた入り口のフロアーにも椅子が用意されている。スタッフルームにも自由に入室することができる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベット、カーテン、エアコンを施設としては用意しているがそれ以外のものは自由に持込めるようになっている。筆筒など入居者の希望のものが入っている。		